

平成29年度 第1回 大阪府立豊中高等学校 学校協議会

日 時 平成29年5月26日（金） 17:00～18:40

出席者 協議会委員 山崎 彰 越智 克司 増田 敬彦 大野 俊介 岩本 宏司
校 長 平野 裕一
事務局 藤井 秀雄、高山 泰司、上林 卓也、朝倉 淳
本校教員 松井 健大、加田 隆夫

次 第

1. 挨拶 平野 裕一 校長
2. 自己紹介
3. 会長選出 山崎 彰氏を会長に選出
4. 会長代理選任 越智 克司氏を会長代理に選出
5. 会長挨拶 山崎 彰 会長
6. 協 議

(1) 平成29年度学校計画について

平成29年度学校経営計画及び学校評価について説明。

中期的目標に3点掲げ、進路を切り拓く学力の育成として、生徒の自学自習を習慣化させる力をつけさせたい。また、府立高校では昨年からノークラブデイが導入され、家庭または学校での自学学習する習慣を身につけさせていきたい。

府立高校の弱点としてよく指摘される、特に2年生の時期に起きる中だるみ現象を克服していきたい。

キャリア教育進路指導として、生徒に今後の明確な目標を持たせていくために1年生を対象にした職業希望別進路講演会を開催する。

国際舞台で活躍できる人材を育成し、受験勉強だけでなく、幅広くリーダーシップを持った人材を育成する。

また「志」学として、夏休みを活用して2年生がボランティア活動を地域に出向いて実施しているが、昨年はこれをタウン誌に取り上げてもらい、本校がいわゆる大学進学校ということだけでなく地域に根ざした学校であり、また生徒に幅広いリーダーシップを持った人材に育成していく。

今後、現中学3年生から大学入試の英語受験が変わり、外部の英語検定を入れていくことを検討することになるが、情報を集めながら今後検討していく。本校はどの形でも対応できると自負している。

大学との交流や分校となる能勢高校との通じた交流により SSH,SGH 事業の充実を図っていく。

教員の資質向上として、新規採用教員が増えている一方、ベテラン教諭の大量退職の時期を迎えており、今まで培われてきたベテラン教諭のいい部分を若手に引き継がれていくことが必要と考え、昨年度も実施してきたが年間 20 回程度、校長が講師として新規採用教諭に対し、週一時間の校内での研修を実施している。

また、教科会議を通じて教科にかかわるディスカッションを実施することによってベテラン教諭のノウハウを若手に引き継ぐ機会を設け、その実効性を確立していく。

教員の働き方改革として、過労死レベルに達する超過勤務時間といわれる年間 800 時間を超える教諭 5 人以下を目指す。

勤務時間として土日祝の部活動指導も含めた時間も計上されるが、本来、振替休日を取得することになるが、現実的には取れず特別手当対応の教諭が多い。

本年度の重点目標として、土曜講習を活用することにより学校の授業だけで十分に志望大学に到達できるような学力を身に着けさせたい。

能勢高校分校化で能勢町が身近になるため能勢町と連携しながら、新しいボランティア活動を見出す。

TOEFL からさらに広げることも考えながら、引き続き海外からの生徒の受け入れ、大学の留学生との交流も行っているので、国内にしながら英語が活用できる生徒を育成していきたい。

(2) 平成 29 年度の教育課程について

平成 29 年度入学生教育課程について説明。

1 年生から普通科及び文理学科の併設された教育課程となっているが、いずれも大学進学志望に向けた学力をつけさせる内容となっている。また、文理学科では英語、理数など専門教科科目を入れて、課題研究科目で生徒がテーマを選択して研究発表する講座を開いている。

2 年生からは生徒の文系理系の希望を取り、文系理系に分かれた授業を、3 年生は受験に向けて科目選択を実施している。

芸術系の授業カリキュラムは 3 年生の芸術系の授業では、取れなくなっており、1 年生は 2 単位、2 年生の文系は 1 単位で、2 年生の理系は芸術が取れないことになっており、これは府立高校の傾向となっている。

なお、本校が行っている課題研究については、受験対応ということではなく、答えのないものを答えに導くことを学んでいる。

本来は、課題研究を学ぶことで、一般的に生徒自身のペースで自分の答えを導く、大学で学んでいることを生徒は学ぶことをしている。

(3) 平成28年度の進路状況について

4月時点の3年生の進路希望調査結果、昨年度全受験結果、進学先結果、過去3年の合格者数、過去3年の理系文系と校内偏差値の相関、センター試験得点及び3年間の各模試とセンター試験得点率との相関について分析結果等について説明報告。

生徒・保護者への情報共有として冊子を作成し配布している。

(4) GLHS 事業について

府内10校が指定され、受けられるプログラムで、特に文理学科の生徒は課題研究の授業を行い、大阪大学や京都大学と連携し、本校卒業生で大学教鞭をとっている先生を招聘して京都大学講演会を開催し、大学レベルの授業を体験させている。

また、生徒に京都大学の研究室を見学させ、高校授業のレベルを超えた大学の学びを経験させている。

(5) SSH 事業の取組について

平成14年度からの国の事業であり、本校は平成22年度から文部科学省の指定を受け、平成27年度には指定2期目となり、今年は中間ヒアリングを受ける年となっており、その結果次第では事業の打ち切りという事態もあるが、主担の調査員から本校は好評価を得ることができたので、今後取りまとめて秋から冬に向けて実施される中間ヒアリングに臨んでいく。

本校では科学する「ココロ」と「ヒト」を育てる豊中スタンダードプログラムを研究課題に掲げ、多くの生徒に対し「世界を牽引するリーダーの資質を育てる教育プログラム」の開発を目指している。

- ① 単に高校生の時だけで完結するプログラムだけでなく、中学生3年生向けのプログラム、大学に行った卒業生にも積極的に関わってもらおうプログラムの実施。
- ② 科学者に本当に必要な心に育てるため、積極性、忍耐力、協調性などの成長を促すプログラムの中で実践し、定量化できるようルーブリックの作成に取り組んでいる。
- ③ TOEFL 仕様の英語授業を中心に高いレベルの英語に取り組んで、海外で発表できる生徒を視野に入れてのプログラムの実施。

(6) SGH 事業の取組について

社会系課題に取り組む事業で、平成27年度から指定を受け、3年目となっている。

本校は特にイスラーム文化に焦点を当て、実際現地に行って国内外フィールド調査によりその文化の人たちと交流することで見えてくる現地の課題あるいは日本の課題についても取り組んでいる。

また、基本となる英語に関しては即興型英語ディベートを用い、英語の取得と同時に議論の仕方、異なる意見との向き合い方を学んでいく。

(7) その他（大阪府の教育状況等）について

・「志学」の取組みについて

本府には「大阪の教育力」向上プランがあり、本校ではこの趣旨を踏まえ、生徒に勉強だけでなく、心の教育として生徒自らの足で探して興味関心のあるものに出向き、主に2年生の夏休みにクラブ単位でボランティア活動を行い、レポートを作成している。

・能勢高校の豊中高校分校への再編について

入試について、本校には文理学科等があり、能勢高校は総合学科等として今までどおりそれぞれ学校で実施となる。

カリキュラムについて、設置している学科や学校におかれた地域のニーズも異なるため、それぞれニーズに合わせたカリキュラムを展開することになり、分校化により本校は大きく変わることはない。

なお、本校と分校が、いい形でパートナーシップを持ち連携しながら、この6月に両校を光回線をつなぎ、離れた2教室をリアルに一つの教室にあるような授業ができる遠隔授業システムを試行実施することになっている。

授業内容としてSGHの生徒の課題研究について交流、本校に配置されているスーパーイングリッシュティーチャーが能勢高校の英語授業に関わることを予定している。

SSHでは、能勢高校の広大な農地で採取される生物を活用して本校の研究していくことが期待され、7月に公開することになっている。

【質疑】

○3年生の授業カリキュラムで、芸術系の授業はどのようになっているか。

⇒3年生の芸術系の授業は、取れなくなってきたおり、1年生は2単位、2年生の文系は1単位で、2年生の理系は芸術が取れないことになっているのが府立高校の傾向である。

○大学で建築の教鞭をとっているが、絵をあまり学んでいない学生が見受けられる。

建築家という職は絵のスキルが大事で、小学、中学の積み重ねであるが、高校の授業で広くキャリアを積んでほしいという思いがある。

⇒以前に比べ、芸術系の教諭が少なく、授業は週一時間となっている。

昔は授業で芸術作品に取り組むことであるし、時代の流れがあり、昔なら受験のため、3年生から文系理系に分けていたが、現在は受験対応がせまられること。また早期からキャリア教育という形で、生徒の進学校決定しており、どうしても進学校については、正しい選択かどうかはわからない。

本校が行っている課題研究については、受験対応ということではなく、答えのないものを答えに導くことになる。

本校では課題研究を学ぶことにより、一般的に生徒自身のペースで自分の答えを導くことなど本来、大学で学んでいることをこの高校で学んでいる。

○以前に比べ芸術系の教諭が少ない。中学校もそうであるが、週一時間となっている。昔は授業で芸術作品に取り組むこと
研究発表が必要となってきた。発表の際、いかにみせるか、センスが磨かれる。